

木材利用の活動報告

地域材を活用した木造公共施設の建設について

当麻町 建設水道課 菅野敏夫

背景・目的

当麻町では平成21年度において、町内の子育てに関するサービスを総合的かつ効率的に運営できる複合施設整備の基本構想を策定しました。

22年度において基本計画を進め、本事業を「森林整備加速化・林業再生事業」の活用を前提に計画し、木材は可能な限り当麻産材を使用し地域の活性化と共に「木の良さ」を肌で体感できる施設として定め、基本設計を建築設計コンサルタントへ委託しました。

構造計画において、施設の規模から大断面木造集成材及び一般構造用集成材にて建築することで決定しました。

※以上の背景から、この事業で地域材をほぼ100%活用して建設に至ったプロセスについて報告いたします。

地域材活用の流れ

- ・基本設計において使用木材の概算数量を算出し、原木確保のため町と当麻町森林組合と協議。
- ・原木確保を確認後、実施設計委託業務を発注。
- ・当麻町森林組合製材工場にてラミナ加工開始。
- ・実施設計完了後、工事発注。
- ・工事請負者が、大断面集成材及び一般構造用集成材並びに一般構造材について価格交渉し契約。
- ・当麻町森林組合よりラミナをJAS認定工場へ、原木丸太を製材工場搬入。【木材産地証明】
- ・指定期日内に製品化された材料を現場へ搬入。



町・私有林より原木確保



ストックヤードで産地分



JAS認定工場で大断面加工



大断面集成材製品化



期日内現場搬入



現場建込開始



大断面集成材建込完了



工事完了

内容・成果

名称	規格	数量(m ³)	材種	産地
大断面集成材	集成材フレーム	58.2	カラマツ	当麻産
一般構造材	柱・根太・垂木	84.2	トドマツ	当麻産
一般集成造作材	開口部枠・巾木	5.7	トドマツ	当麻産
内装材	内部腰壁羽目板	1.2	トドマツ	当麻産
外装材	外部羽目板	2.1	カラマツ	当麻産
防腐土台	外部廻り	3.5	ツガ	米国産
合計		154.9		



遊戯室

当麻産材使用率
151.4m³ / 154.9m³ = **97.74%**

※【経済波及効果】産業関連法による推計

当麻産材利用による道内への経済波及効果3,600万円、当麻町内への効果750万円と推計。

今後の展開

公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律に基づき、当麻町地域材利用推進方針を定め、今後当麻町が整備する公共建築物に、積極的な町産材の利用推進を図って参ります。